

## 課題発見ゼミナール 石田クラス希望者：4名

現代は情報技術が急速に発展しています。そのため膨大な量の情報が世の中にはあります。しかしすべてが正しいとは限らず事実でない情報もたくさんあります。なのでそれらの間違っただけの情報に惑わされず、自分でデータを分析できるようになるためにこのクラスで統計学について学びたいです。

私は高校時代、数学という科目がとても苦手だった。複雑な問題は特に、数字と文字が組み合わさった暗号にしか見えないのだ。おまけに計算に時間がかかるくせに結局間違えるということが多々あり、なぜ計算機という便利なものがあるのに自分の頭で計算しなくてはならないのかと毎日のように文句を言っていたが、数学の中で一つだけ面白いと感じたものがあった。それが統計である。実際の統計学は高校の初歩にも及ばないものより難しいことは分かっている。途中で嫌になるだろうことも想像できる。しかしながら、統計学は様々な物に使われていて、役に立つ事は間違いない。地域創生コースに進みたいと思っているため、色々なデータを見る際に統計学を使えたら、また違う事実気づけるかもしれない。そもそも大学できちんとデータの見方を学習して、社会の動向を分析できるようになれば、政治や経済について浅く考える人も減るのではないか。私みたいな数学嫌いに分かることはきっと無いのだろうと思っていたが、1年生の今出来ることを考えた結果、苦手な道を敢えて通ることを選んだのだ。そしてもうひとつ理由がある。私はコンピュータを使うことも苦手なのだ。パソコンは持っているが殆ど使うことがない。授業という手を借りなければコンピュータを使わないというのは、現代の学生として情けないことである。大学卒業後、コンピュータとは長い付き合いになるであろう。これを機に、無理矢理でもパソコンに向き合おうと思う。数学とコンピュータという私にとって最高の苦手コンビ、この両方が詰まっているのため選ぼうと思ったのだ。

まず、統計学ということだが、折角今自分が学んでいる分野とはまた違った分野について学べる機会なので知識を身につけたいと考えたからである。また、データを読み解いたり、分析したりする力は現代の情報社会の中では必要な能力であるので学びたい。

自身の将来の目標は学習マシンの開発に関わることである。現在自身が関係すると考えられる分野は心理学、脳科学、視線解析、生理学、プログラミングなどである。これらは数値に基づく根拠によって思考すること、一つの事象をいくつかの要素に分けて考えるというモデル化である。現在自身はイノベーションチャレンジを履修しておりそこで先行論文を読み、プログラミングも行うので心理学、脳科学、視線解析、生理学、プログラミングは10月までに自習している。しかし、数値に基づく根拠によって思考すること、一つの事象をいくつかの要素に分けて考えるモデル化を行うトレーニングは10月時点では行えていないと考える。時間的都合により10月から行うことにしている。これらの能力をつけるための手段が数学であると考えられる。入学試験の対策として数学をしていた。解くことが出来る問題が増えるにしたがって日常生活でも今までなら着眼点が分からず考えることをあきらめていたトラブルに対していくつかの要素を書き出して「みえる化」し、要素を一つずつ検討することで解決できたという体験をした。このことから数学力が思考の幅を決めていると考えられる。数学は思考の基礎となるのでこのゼミを選んだ。